

「絵本の力感じて」

豊田の社団法人 愛教大に贈る



付属図書館内に昨秋開設された「キッズライブラリー」＝刈谷市の愛知教育大で

一般社団法人「情報教育 大に絵本三十六冊を贈り、研究所」(豊田市御幸本 同大で二十六日、関係者に町)は、刈谷市の愛知教育 による贈呈式があった。

後藤学長(右)に「かもめ文庫」のパネルを手渡す永坂代表理事



愛教大では、地域での子育て支援の一環として、近隣住民も利用できる付属図書館の絵本を充実させ、学生が園児に絵本を読み聞か

せるイベントも開いてきた。昨年十月には、国内外の絵本や紙芝居など三千六百冊を集め、靴を脱いで座

って楽しめる「キッズライブラリー」(広さ六十三平方メートル)を開設した。

情報教育研究所の永坂武城代表理事(左)がキッズライブラリーを視察し趣旨に賛同。「絵本の持つ力を学生に感じてほしい」と、価値観の多様性やコミュニケーションのこころなどを学べる絵本を選び、木の本箱に入れて贈ることにした。

研究所は、絵本を使いながらインターネットの安全な使い方を子どもから大人までに伝える講座を全国で開催。地域の企業の協賛を基に、「かもめ文庫」の名で絵本を小学校に贈っているが、今回は協賛を受けなかった。

永坂代表理事がこの日、図書館を訪れて後藤ひとみ学長(右)に寄贈。永坂代表

理事は「先生を目指す学生らに、子どもが読み聞かせによって絵本の世界に入る瞬間を感じてもらい、絵本が教育のいろいろな場面に役立つことを体感してもらいたい」とあいさつした。

(神谷慶)